

# 決算特別委員会資料

議案第89号

令和5年度北九州市一般会計決算について（消防局所管分）

- |  |              |         |
|--|--------------|---------|
| 1  | 歳入決算額        | ・・・P2   |
| 2  | 歳出決算額        | ・・・P2   |
| <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">参考</span> | 消防局主要事務事業の概要 | ・・・P3～4 |

消 防 局

## 令和5年度北九州市一般会計決算について(消防局所管分)

### (1)歳入決算額

(単位:円)

款	項	目	節	予算現額			調定額	収入済額	収入未済額	
				当初予算額	補正予算額	継続費及び繰越事業費				
17	1	11	1 消防使用料	877,000	0	0	877,000	1,440,798	1,440,798	0
			2 消防手数料	41,115,000	0	0	41,115,000	36,100,130	36,100,130	0
18	1	3	1 消防費負担金(国)	7,309,000	0	0	7,309,000	0	0	0
			2 消防費補助金(国)	45,396,000	0	102,108,000	147,504,000	131,912,682	131,912,682	0
			3 消防費委託金(国)	3,000,000	0	0	3,000,000	2,983,750	2,983,750	0
19	2	8	1 消防費補助金(県)	135,959,000	0	0	135,959,000	135,814,000	135,814,000	0
20	1	1	1 土地貸付収入	2,225,000	0	0	2,225,000	1,059,160	1,059,160	0
			2 建物貸付収入	5,938,000	0	0	5,938,000	5,473,284	5,473,284	0
24	6	4	29 消防費雑入	102,139,000	0	0	102,139,000	87,249,410	87,249,410	0
25	1	10	1 消防債	807,800,000	91,000,000	436,100,000	1,334,900,000	1,069,400,000	1,069,400,000	0
合計				1,151,758,000	91,000,000	538,208,000	1,780,966,000	1,471,433,214	1,471,433,214	0

### (2)歳出決算額

(単位:円)

12款1項 消防費	予 算 現 額					支出済額	翌年度 繰越額	不用額
	当 初 予算額	補 正 予算額	継続費及び 繰越事業費 繰 越 額	予備費支出 及び 流用増減	計			
1目 消防職員費	9,312,959,000	159,945,000	0	0	9,472,904,000	9,342,207,878	0	130,696,122
2目 常備消防費	836,038,000	20,000,000	13,000,000	0	869,038,000	822,035,406	0	47,002,594
3目 非常備消防費	407,444,000	0	0	0	407,444,000	357,536,025	0	49,907,975
4目 消防施設費	1,202,283,000	190,726,000	615,560,000	0	2,008,569,000	1,836,959,703	116,400,000	55,209,297
合 計	11,758,724,000	370,671,000	628,560,000	0	12,757,955,000	12,358,739,012	116,400,000	282,815,988

### 3 消防局主要事業の概要

(単位：千円)

区分	事務事業名	事業概要	支出済額
あらゆる災害に対応するための 消防体制の整備	① 消防体制の充実強化 【2目 常備消防費】 【4目 消防施設費】	大規模災害への備えとして、豪雨災害時に使用する救命胴衣、火災や交通事故、土砂災害やテロ等特殊災害時に使用するチェーンソー、化学防護服等の資器材を整備した。 また、林野火災対策として、泡消火剤等を配備した。  ◆消火剤購入数 63缶(1,260L)	52,631
	② 消防職員の人材育成・能力向上 【2目 常備消防費】	消防職員に必要な資格を取得させるとともに、専門知識や技術の向上を図るなど、計画的な人材育成を行った。	16,695
	③ 消防施設の整備 【4目 消防施設費】	消防施設の長寿命化を図るため、外壁改修工事などを計画的に進めた。また、第三者所有方式による空調機器の導入などにより、消防施設におけるカーボンニュートラルを推進した。  ◆外壁改修工事等 訓練研修センター他25施設 (うち繰越7施設 R5⇒R6) ◆空調機器の導入 若松消防署他4施設	168,348
	④ 消防車両等の整備 【4目 消防施設費】	消防活動に必要となる救助工作車やはしご付消防自動車等の更新に加え、消防ヘリコプターのエンジン交換を行った。  ◆常備車両更新台数 6台(うち繰越4台 R4⇒R5) ◆非常備車両更新台数 9台	1,330,793
火災予防対策の強化	⑤ 木造の市場・商店街等における火災予防対策の強化 【2目 常備消防費】	且過地区等の火災を受け、大規模な火災につながりやすい、木造の市場・商店街等が密集する地域の店舗(約1,000店舗)に対して、「防火指導員」によるきめ細かな防火指導や地域ぐるみの消火訓練等を実施した。	9,343
	⑥ 防火査察の強化 【2目 常備消防費】	木造の市場・商店街が密集する地域における火災予防対策の強化を図るため、査察周期の短縮や、違反是正の強化を行った。	20,160
	⑦ 住宅防火対策の推進 【2目 常備消防費】	住宅火災による死者の発生を防ぐため、高齢者世帯を中心に、住宅用火災警報器の設置、点検及び交換を促進した。	175

### 3 消防局主要事業の概要

(単位：千円)

区分	事務事業名	事業概要	支出済額
救急体制の強化	⑧ 救急体制の強化 【2目 常備消防費】 【4目 消防施設費】	増加する救急需要に対応するため、平日日中に臨時編成する「機動救急隊」を運用した。また、救急車4台を更新するとともに、救急救命士6人を養成した。	216,141
	⑨ 救急活動の質の向上 【2目 常備消防費】	より多くの命を救うため、医療機関との緊密な連携により、医師による専門性の高い指導・助言を受けることで、救急活動の質の向上に向けた取り組みを行った。	6,880
	⑩ 市民による応急手当の普及啓発活動の推進 【2目 常備消防費】	市民による救命技術の向上を図るため、応急手当の普及啓発活動を推進した。  ◆各救命講習実績：663回・28,741名	963
地域における災害対応力の向上	⑪ 消防団の充実強化 【3目 非常備消防費】 【4目 消防施設費】	老朽化した消防団施設の建替えを計画的に進めるとともに、防火服やヘルメット、安全靴など、装備の充実を図った。また、消防団員の活動を積極的にPRするなど、消防団への入団促進活動を行った。  ◆小倉北消防団第2分団本部新築（砂津三丁目）	279,246
	⑫ いきいき安心訪問の推進 【3目 非常備消防費】	高齢者の安全・安心の向上を図るため、消防団員が一人暮らし高齢者世帯等を訪問し、防火・防災などの啓発や、簡単な身の回りのお世話、福祉相談の関係機関への伝達などを行った。  ◆令和5年度の訪問数 1,702世帯	3,795
	⑬ 市民防災活動への支援 【2目 常備消防費】	災害に強い安全・安心なまちづくりに向け、地域の自主防災力を向上させるため、「市民防災会」への防災リーダー研修23回(978名)の実施や、地域で開催される防災訓練の支援を行った。	6,543
	⑭ あんしん通報システムの運用 【2目 常備消防費】	高齢者世帯等を対象として、火災センサーの感知やボタンを押すことで緊急通報できる装置を設置し、緊急時、より迅速に消火・救急活動ができる体制づくりに取り組んだ。  ◆令和5年度末 稼働数：2,479台	430
			※上記の他、 保健福祉局所管分 (介護保険特別会計) 45,425